

令和元年 12 月 17 日に、唐津湾で猛毒
のヒョウモンダコが確認されました。
危険ですので絶対に触れないでください。



通常の色



興奮時の体色
(青いリング模様が際立つ)

ヒョウモンダコは、体長 10cm 程度の小型のタコで、刺激を受けると全身に青いリング模様が現れます。ヒョウモンダコは、唾液腺にフグと同じ神経毒のテトロドトキシンなどの猛毒を含み、噛まれると呼吸困難や心停止を引き起こし、最悪の場合は死亡することもあります。

本種は、これまでは紀伊半島から鹿児島・沖縄に掛けての海域に棲息するとされていましたが、近年の地球温暖化に伴うと考えられる海水温の上昇により、その生息域が北上しているものと考えられます。

ヒョウモンダコを見つけても、絶対に捕まえたり触れたりしないでください。

玄海水産振興センター (0955)74-3021